平成26年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年２月７日

上 場 会 社 名	日本石油輸送株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	9074	URL	http://www.jot.co.jp
代　　表　　者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)森田　公生	
問合せ先責任者	(役職名)総務部長	(氏名)松井　克浩	(TEL)03(5496)7671
四半期報告書提出予定日	平成26年２月13日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成26年３月期第３四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年12月31日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第３四半期	22,167	△0.1	390	14.8	645	13.1	426	22.6
25年３月期第３四半期	22,198	△6.4	339	△13.1	570	△6.0	347	14.0

(注)　包括利益　26年3月期第３四半期　574百万円 (165.9%)　25年３月期第３四半期　215百万円 (　―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
26年３月期第３四半期	12.89	―
25年３月期第３四半期	10.51	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第３四半期	27,653	16,003	57.9
25年３月期	27,296	15,662	57.4

(参考) 自己資本　26年３月期第３四半期　16,003百万円　25年３月期　15,662百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
25年３月期	―	3.00	―	4.00	7.00
26年３月期	―	3.00	―		
26年３月期(予想)				4.00	7.00

(注)　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	31,000	1.7	800	44.4	1,000	29.3	700	28.7	21.15

(注)　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　―社（社名）　　、除外　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（注）詳細は、添付資料Ｐ４「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期３Ｑ	33,229,350株	25年３月期	33,229,350株
②　期末自己株式数	26年３月期３Ｑ	132,144株	25年３月期	128,216株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期３Ｑ	33,099,101株	25年３月期３Ｑ	33,101,076株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ３「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… ２
（１）経営成績に関する説明 …… ２
（２）財政状態に関する説明 …… ３
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… ３
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… ４
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… ４
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… ４
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… ４
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… ４
４．四半期連結財務諸表 …… ５
（１）四半期連結貸借対照表 …… ５
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… ６
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… ８
（継続企業の前提に関する注記） …… ８
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… ８
（セグメント情報等） …… ９

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策の効果等を受け、企業収益が改善に向かうなど、景気回復の動きが広がっているものの、海外経済の下振れリスクや原油・原材料価格の上昇の影響等もあり、予断を許さない状況が続いております。

当社グループを取り巻く物流業界におきましては、景気回復の動きや消費税増税を見越した需要により、国内貨物輸送量が増加傾向に転じておりますが、依然として低い水準に留まっております。

このような状況のもと、当社グループは、顧客から信頼され選択される物流パートナーとして、安全で高品質な輸送の提供に努めるなか、既存顧客との関係強化に加え、化成品における海外物流事業へ本格参入するなど、新規顧客の開拓に向けた営業活動に注力し、輸送量の確保を図ってまいりました。また、新しい輸送容器の開発や太陽光発電事業等の新規事業にも、積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は22,167百万円（前年同期比0.1％減）となり、営業利益は390百万円（同14.8％増）、経常利益は645百万円（同13.1％増）、四半期純利益は426百万円（同22.6％増）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

（石油輸送事業）

石油輸送事業につきましては、震災に対応した振替輸送が平成24年９月に終了したことや北海道地区における油槽所の閉鎖等の影響もあり、売上高は減少いたしました。

この結果、当事業における売上高は11,635百万円（前年同期比0.7％減）となりました。

（高圧ガス輸送事業）

高圧ガス輸送事業につきましては、ＬＰＧ（液化石油ガス）輸送の需要減があったものの、ＬＮＧ（液化天然ガス）輸送において、夏季における発電用の需要増や産業用の新規輸送による増加があり、売上高は増加いたしました。

この結果、当事業における売上高は5,257百万円（前年同期比0.5％増）となりました。

（化成品・コンテナ輸送事業）

化成品輸送事業につきましては、国内の石油化学製品需要の減少傾向が続くなか、平成25年10月から本格参入した海外物流事業や新規顧客開拓に向けた営業活動に注力し、売上高は前年並みとなりました。

コンテナ輸送事業につきましては、景気回復を背景に需要が増加しつつあるものの、台風、大雨等の自然災害や北海道地区の脱線事故により、貨物列車の運休が多数発生した影響を受け、売上高は減少いたしました。

この結果、当事業における売上高は5,166百万円（前年同期比1.5％減）となりました。

（その他事業）

平成25年３月から新規参入した太陽光発電事業につきましては、好天に恵まれ順調に稼動しており、当事業における売上高は108百万円となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末の総資産は27,653百万円となり、前連結会計年度末に比べ357百万円増加いたしました。

流動資産は4,588百万円となり、前連結会計年度末に比べ349百万円増加いたしました。これは主に季節変動による受取手形及び売掛金の増加によるものであります。固定資産は23,065百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円増加いたしました。これは減価償却の進捗により機械装置及び運搬具やリース資産が減少したものの、コンテナの取得や投資有価証券の時価変動に伴う増加によるものであります。

負債は11,650百万円となり、前連結会計年度末に比べ15百万円増加いたしました。これは短期借入金やリース債務の返済および賞与の支払いにより減少したものの、季節変動による支払手形及び買掛金の増加によるものであります。純資産は16,003百万円となり、前連結会計年度末に比べ341百万円増加いたしました。これは四半期純利益の計上、その他の包括利益累計額の増加によるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ0.5%上昇し、57.9%となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、最近の経済情勢や業績動向を踏まえ、概ね堅調に推移するとの見通しから、以下のとおり若干の上方修正を行います。

○平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売　上　高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	30,500	700	900	600	18.13
今回修正予想（B）	31,000	800	1,000	700	21.15
増減額（B－A）	500	100	100	100	－
増減率（%）	1.6	14.3	11.1	16.7	－
（ご参考）前期実績（平成25年3月期）	30,472	554	773	543	16.43

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	373	379
受取手形及び売掛金	3,258	3,610
その他	607	599
流動資産合計	4,238	4,588
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	5,440	5,375
コンテナ（純額）	2,263	2,379
土地	5,111	5,104
リース資産（純額）	3,533	3,178
その他（純額）	1,768	1,832
有形固定資産合計	18,117	17,870
投資その他の資産		
投資有価証券	3,996	4,243
その他	943	951
投資その他の資産合計	4,939	5,194
固定資産合計	23,057	23,065
資産合計	27,296	27,653
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,747	1,921
短期借入金	1,076	910
未払法人税等	109	216
賞与引当金	556	274
役員賞与引当金	96	61
その他	2,331	2,746
流動負債合計	5,918	6,131
固定負債		
リース債務	2,393	2,169
退職給付引当金	2,507	2,520
修繕引当金	279	235
その他	535	593
固定負債合計	5,716	5,518
負債合計	11,634	11,650
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,661	1,661
資本剰余金	290	290
利益剰余金	12,996	13,191
自己株式	△30	△31
株主資本合計	14,917	15,111
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	744	892
その他の包括利益累計額合計	744	892
純資産合計	15,662	16,003
負債純資産合計	27,296	27,653

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	22,198	22,167
売上原価	20,377	20,277
売上総利益	1,820	1,890
販売費及び一般管理費	1,480	1,500
営業利益	339	390
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	96	81
固定資産賃貸料	170	168
持分法による投資利益	41	20
雑収入	99	131
営業外収益合計	409	402
営業外費用		
支払利息	72	58
固定資産除売却損	28	24
固定資産賃貸費用	67	56
雑損失	10	7
営業外費用合計	178	147
経常利益	570	645
特別利益		
国庫補助金	9	76
固定資産売却益	103	29
補助金収入	39	57
その他	17	11
特別利益合計	169	175
特別損失		
固定資産圧縮損	8	76
減損損失	50	－
その他の投資評価損	19	－
その他	12	2
特別損失合計	91	78
税金等調整前四半期純利益	648	742
法人税等	300	315
少数株主損益調整前四半期純利益	347	426
少数株主利益	－	－
四半期純利益	347	426

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	347	426
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△131	143
持分法適用会社に対する持分相当額	0	3
その他の包括利益合計	△132	147
四半期包括利益	215	574
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	215	574
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	石油輸送	高圧ガス輸送	化成品・コンテナ輸送	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,722	5,233	5,242	22,198	―	22,198
セグメント間の内部売上高又は振替高	328	―	3	332	△332	―
計	12,050	5,233	5,246	22,530	△332	22,198
セグメント利益又はセグメント損失(△)	76	△62	325	339	―	339

（注）　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

各報告セグメントに配分していない全社資産において、遊休資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額したことにより、50百万円の減損損失を計上しております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	石油輸送	高圧ガス輸送	化成品・コンテナ輸送	その他（注）１	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,635	5,257	5,166	108	22,167	―	22,167
セグメント間の内部売上高又は振替高	318	10	8	―	336	△336	―
計	11,953	5,268	5,174	108	22,504	△336	22,167
セグメント利益又はセグメント損失(△)	128	△92	332	21	390	―	390

（注）１　報告セグメントの「その他」は、太陽光発電事業であります。

（注）２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

第１四半期連結会計期間より、「化成品・コンテナ輸送」に含まれていたＬＮＧコンテナ輸送を、管理区分の変更に伴い「高圧ガス輸送」に含めております。これにより、前第３四半期連結累計期間については、変更後の区分により作成しております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。